

田尻総合支所新庁舎が完成

2月10日 供用開始します

田尻総合支所の新庁舎が令和元年12月に完成し、いよいよ2月10日(月) 8時30分から供用を開始します。
延床面積約1,225㎡、木造平屋建ての内壁や柱などには、大崎市産の木材を約98%(うち田尻地域産約38%)使用し、木材の優しい香りとあたたかみ溢れる空間となりました。

歴史・文化・自然を発信

新しい田尻総合支所には、平成29年に大崎市で初めて国の重要文化財に指定された「木造千手観音坐像」と、脇侍2軀(木造不動明王立像、木造毘沙門天立像)を、10月ごろから収蔵します。
千手観音坐像は、明治初期に廃寺となった小松寺(田尻小松地区)の本尊と

して伝来し、12世紀後半に平泉(岩手県)の寺院で造仏に携わった仏師が製造したと考えられています。地域の皆さんから、「地域の宝は地域内で守りたい」との声をいただき、新庁舎への収蔵が決まりました。
市役所などの行政庁舎の中に重要文化財の仏像が収蔵・展示されるのは、全国的にも初めてのケースです。地域を見守る観音坐像を、すぐそばで感じることが出来ます。

地域のランドマークへ

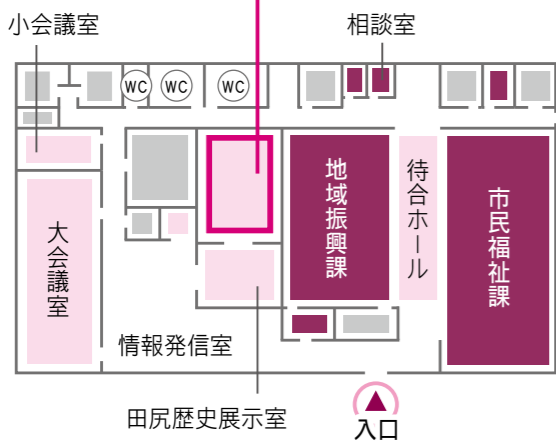
庁舎内には、防災拠点としての機能を備え、世界農業遺産「大崎耕土」やラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」、田尻地域の文化財を紹介する田尻歴史展示室、情報発信室を設け、文化・歴史を次世代につないでいきます。
待ち望まれた新庁舎が安全・安心な地域を形成し、田尻地域の新しいランドマークとして皆さんに愛されるよう、今後活用していきます。



①木のぬくもりと温かい日差しが心地よい情報発信室 ②重要文化財「木造千手観音坐像」 ③庁舎のガラスには、渡り鳥のペイント ④モダンで開放的な田尻歴史展示室と収蔵庫 ⑤入口から北側が市民福祉課、南側が地域振興課 ⑥旧田尻総合支所の円形庁舎外周をかたどる円

【平面図】

重要文化財「木造千手観音坐像」と、脇侍2軀を保存する収蔵室と観覧室



■ 書庫・機械室・更衣室・休憩室など

○ WC トイレ

【完成内覧会】

日時 1月18日(土)・19日(日) 9時～16時
場所 田尻総合支所新庁舎(田尻沼部字富岡)
※申し込みの必要はありません。

【開庁式・窓口業務開始】

日時 2月10日(月) 8時30分～(開庁式は8時予定)
※木造千手観音坐像の収蔵は、収蔵庫内の環境調査の結果により、10月ごろを予定しています。

問 田尻総合支所地域振興課 ☎ 39-1111

【施設概要】

建設地 大崎市田尻沼部字富岡183-3
構造 木造(一部鉄筋コンクリート造)平屋建て
敷地面積 約4,776㎡
延床面積 約1,225㎡
駐車場 58台(うち車椅子利用者用駐車場2台)